

第4章 計画の推進

第1節 目標達成の手法

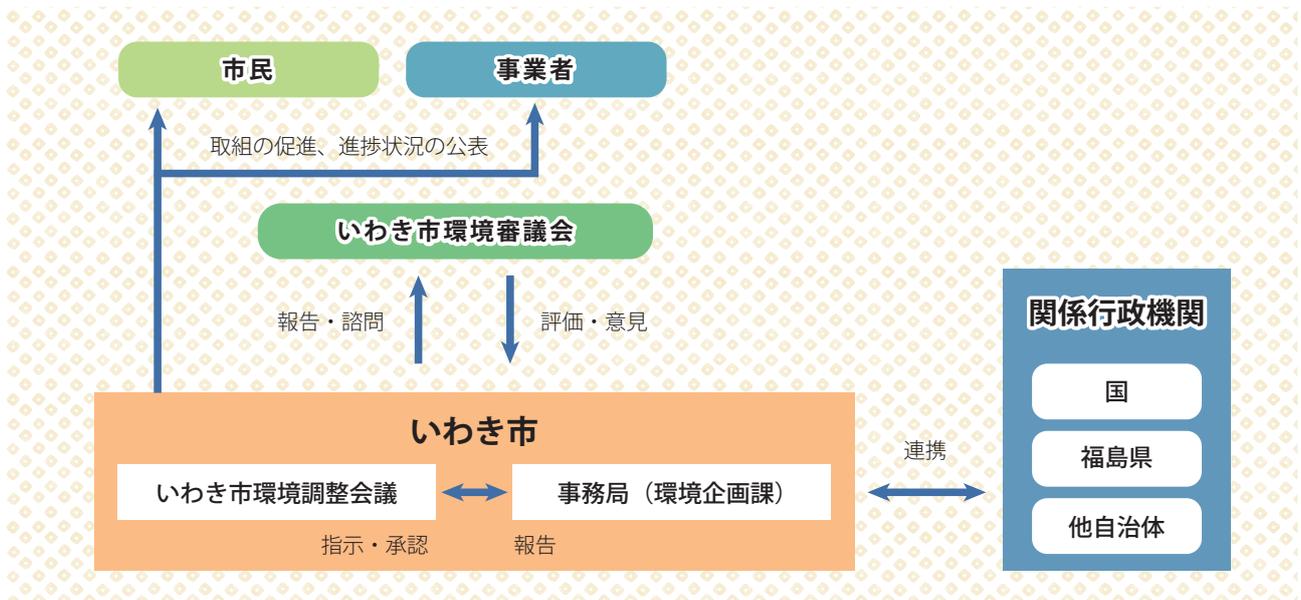
第2節 環境指標による点検・公表

第3節 計画の見直し



第1節 目標達成の手法

計画の実効性を確保し、施策の継続的な改善を図っていくため、環境マネジメントシステム*の考えを取り入れ、「市環境審議会」及び「市環境調整会議」の二つの組織を軸として、PDCAサイクルに基づく進行管理を行い、施策の継続的な改善を図ります。主に、市環境審議会がCheck機能を、市環境調整会議がAction機能を担います。



2020年度



2021年度～2030年度



2030年度(予定)



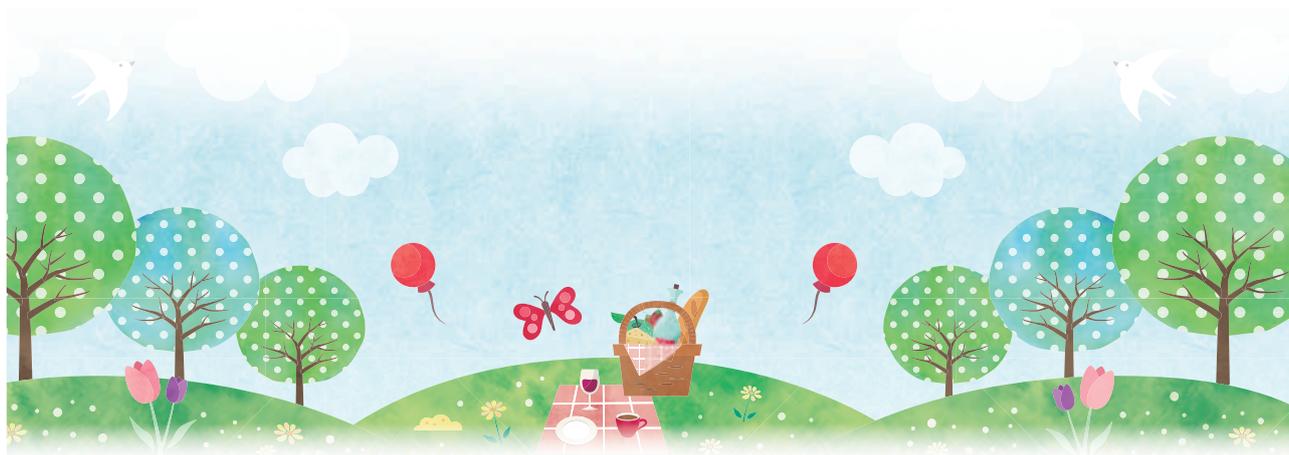
第2節 環境指標による点検・公表

基本目標の達成に向けた施策の取組状況や、施策を実施することによって生み出される成果を「環境指標」として、その点検・評価を実施します。環境指標は、明確な点検・評価を行うため、できる限り定量的かつ継続的に把握できるデータを用います。また、透明性のある点検・評価を行うため、施策の取組状況については、毎年、報告書にとりまとめ、公表します。

第3節 計画の見直し

計画期間である 2021(令和3)年度から 2030(令和12)年度の間には、環境の状況、社会経済情勢、科学的技術の進歩及び科学的知見の集積、さらには、基本目標の達成度合いや環境指標の状況などを踏まえ、適宜、計画の見直しを図ります。

加えて、現在、国が検討を進めている「脱炭素社会の実現」に向けた取組については、今後の国や福島県での動向等を踏まえ、必要な対応を進めます。



市環境審議会

環境審議会は、環境基本法第 44 条及び市環境基本条例第 23 条に基づき設置され、学識経験者や、市民、民間団体及び事業者の代表等で構成する組織で、計画の策定及び見直しについて、市長の諮問に応じ、公正かつ専門的な立場から審議し、答申を行うとともに、計画に基づく施策の進捗状況や目標の達成状況などに対し意見を述べるなど、環境の保全に関する基本的事項について調査審議を行います。

PDCA サイクルによる進行管理上では、特に Check（点検・評価）機能を有します。

市環境調整会議

環境調整会議は、本会議設置要綱に基づき設置され、副市長（生活環境部担任）を委員長、副市長（生活環境部担任以外）を副委員長とし、特定政策推進監、教育部長、消防長、水道局長、医療センター事務局長及び部等の長で構成する庁内組織で、計画に基づく施策や事業の実施と推進方策のあり方、計画の進捗状況の把握と年次報告書の作成など、市の環境政策に関する推進事項について全庁的な総合調整を行います。

PDCA サイクルによる進行管理上では、特に Action（対策の検討・見直し）機能を有します。

市環境調整会議幹事会

幹事会は、環境調整会議設置要綱に基づき、課等の長で構成され、生活環境部長を議長とする庁内組織で、計画の推進に必要な具体的な事項についての庁内調整を行うなど、環境調整会議の所掌する事務全般に関する庁内の連絡調整機能等の充実を図ります。

市環境調整会議研究会

研究会は、環境調整会議設置要綱に基づき、委員長が指名する原則係長職以下の職員で構成され、環境企画課長を議長とする庁内組織で、計画の推進に必要な具体的な事項についての資料の収集や先進事例等の調査を行うなど、幹事会の所掌する事務について詳細な研究を行います。

環境指標一覧

基本目標	基本施策	No.	環境指標	基準値 (R1)	目標値 (R12)	単位	備考
【低炭素】 気候変動を抑え、備えるまち	次世代エネルギー 社会の構築	1	太陽光発電導入量	24,035	37,000	kW	累計値
		2	化石エネルギー消費削減量 (原油換算時)	18,801	22,290	kl	累計値
	徹底した 省エネルギーの推進	3	家庭から排出される 市民一人 あたりの温室効果ガス排出量	2.01	1.22	t-CO ₂ /年	基準値はH25
		4	自家用車利用に伴う温室効果 ガス排出量	389.4	389.4	千t-CO ₂ /年	基準値はH25
	気候変動への対応	5	熱中症搬送患者数	207	減少を目指す	人/年	基準値は 直近5か年の平均
		6	多面的機能支払交付金対象面積	2,542	3,071	ha/年	
		7	防災訓練参加者数	5,599	20,000	人/年	
【循環】 資源が循環するまち	地域内で有効に 資源が循環するまち	8	一人一日当たりのごみ排出量	1,016	900	g/人・日	
		9	リサイクル率	22.3	22.0	%	
		10	食品ロス発生量	6,320	4,800	t/年	基準値はH29
	廃棄物の適正処理	11	産業廃棄物排出量	3,310	3,294	千t/年	基準値はH30
		12	産業廃棄物減量化・再生利用率	96.0	96.0	%	基準値はH30
	まちの美化と 不法投棄の防止	13	クリンピー応援隊参加者数	5,689	6,200	人/年	
		14	不法投棄監視サポーター登録者数	1,156	1,900	人/年	
【共生】 自然の恵みを享受できるまち	生物多様性への 理解の促進	15	野生動植物等調査参加者数	2,549	7,000	人	累計値
		16	自然体験型イベントの開催数	31	50	回/年	
	生物多様性の確保	17	中山間地域等直接支払交付対象 面積	1,200	1,161	ha/年	
		18	緑地協定面積	197.28	現状以上	ha/年	
		19	保存樹林面積	6.02	現状以上	ha/年	
	自然とのふれあいの 機会の創出	20	イノシシの推定生息数	13,351	7,689	頭/年	
		21	森林ボランティア活動等 参加者数	767	1,000	人/年	
22	造林事業実施面積	16,388.94	21,093.30	ha	累計値		
【安全・快適】 暮らしを守るまち	大気・水等の保全	23	大気環境基準達成率	87.3	100.0	%	
		24	水質(河川)環境基準達成率	100.0	100.0	%	
		25	汚水処理人口普及率	86.4	95.6	%	
	自然災害への対応	再掲	熱中症搬送患者数	207	減少を目指す	人/年	基準値は 直近5か年の平均
		再掲	多面的機能支払交付金 対象面積	2,542	3,071	ha/年	
再掲		防災訓練参加者数	5,599	20,000	人/年		
【支える仕組み】 みんなで環境を守り、 創造するまち	環境保全活動の 促進	26	ISO14001・エコアクション21 認証取得事業所数	86	110	件/年	
		27	出前講座参加者数	1,587	5,000	人	累計値
	協働による環境保全	28	環境アドバイザー派遣事業の 受講者数	14,808	20,000	人	累計値
	市の率優先的な活動 の実施	29	市本庁舎等におけるエネルギー 使用量の原単位	24.13	21.48	kl/m ²	
		30	再生可能エネルギー率先導入件数	121	増加を目指す	件	累計値
参考指標	参1	市内全体からの温室効果ガス 排出量	4,900	3,820 以下	千t-CO ₂ /年	基準値はH25	
	参2	市役所等からの温室効果ガス 排出量	122.6	109.8	千t-CO ₂ /年		

